

医学統計学研究センター  
平成30年度第4回セミナー

生体情報としての貴重な臨床検査への統計学  
- 臨床検査情報の適切な解釈と有効利用 -

*Statistics for clinical laboratory data*  
- Appropriate interpretation and use of laboratory information -

講師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日時： 平成30年11月2日（金） PM1:15～PM5:00

場所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8F 東茶協ホール

参考書： 丹後俊郎. 臨床検査への統計学、朝倉書店 (1986) 4,500円  
丹後俊郎. メタ・アナリシス入門 - 第7章、朝倉書店 (2016) 4,900円  
丹後俊郎、小西貞則. 医学統計学の事典、朝倉書店 (2010) 12,900円  
※ 当日、参考書の購入を希望される方は事前登録が必要です。

対象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、  
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： 参加申し込み区分（税込）：  
A：アカデミック 1万2千円（大学・病院・大学に所属する研究機関所属の方）  
B：ノン・アカデミック 2万4千円

最小催行人数： 10名 開講7日前迄に最小催行人数に達しない場合、中止となる場合がございます。  
あしからずご了承くださいませ。不催行になった場合、メールにてご連絡致します。

セミナーの内容：

近年、臨床検査の進歩はめざましく、単なる診断の確認のための補助的なものから、日常の診療上に必要不可欠な生体情報となってきている。新しい検査技術の開発とコンピュータにより制御された自動化分析システムの普及により多項目検査の大量処理が可能となり、検査室のない診療施設においても“臨床検査センター”に外注すれば迅速に検査結果が送り返される時代となった。しかし、このような検査のハードウェアは進歩してきているが、測定された検査値の質、値の解釈、有効利用については、まだまだ、の感が強い。

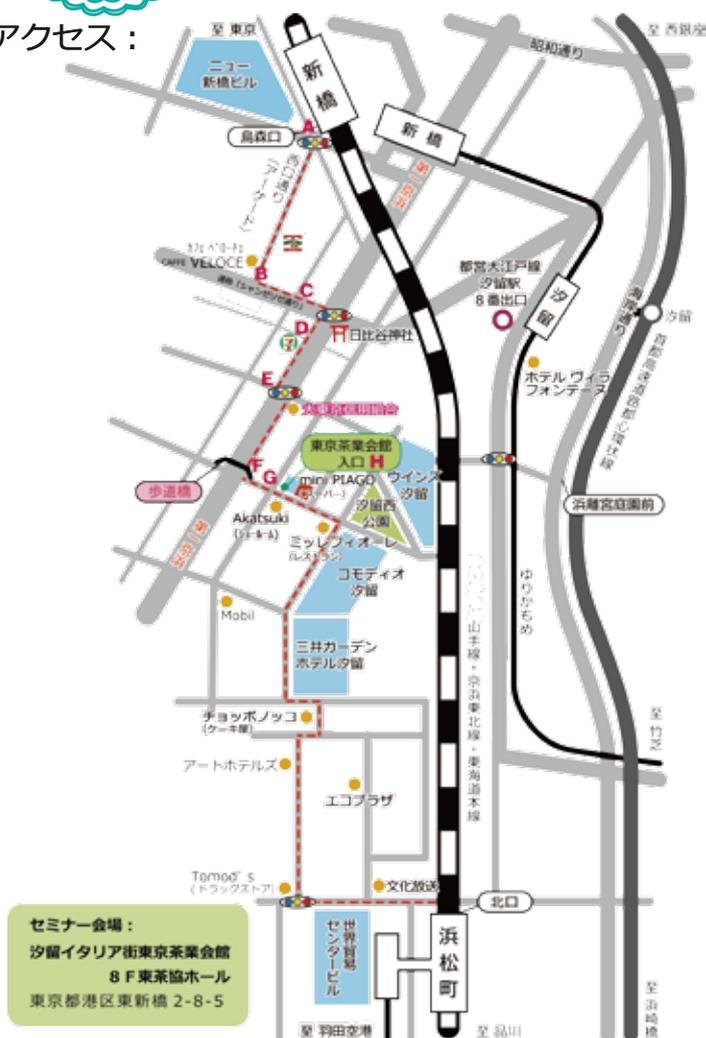
本セミナーでは、臨床検査情報の適切な解釈と有効利用を目指して、

- 1) 精度管理の基礎
- 2) 健康の「ものさし」である基準範囲の推定
- 3) 加齢に伴って変化する基準範囲の推定（小児の基準範囲）
- 4) 検査値の個人差の評価とその応用：個人の経時的繰り返し測定データの解釈、検体取り違えの検出のための $\delta$ -check、クロス・オーバー臨床試験
- 5) 検査診断（診断検査）の評価とメタ・アナリシス：カットオフ値の設定、感度、特異度、予測値、ROC (receiver operating characteristic) 曲線

などの統計学的諸問題を解説する。特に、診断検査の最適なカットオフ値が、  
「Youden indexにより設定できる」という誤解に基づく論文が増加している問題も指摘する。

エレガントな汐留イタリア街で行われる  
最先端のセミナーに参加しませんか？  
Coffee Breakでは素敵な音楽とCoffee & Sweetsが楽しめます

アクセス：



東京茶業会館 8 F  
東茶協ホール  
港区東新橋 2-8-5  
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅  
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ  
「汐留」駅、地下鉄三田線  
「御成門」駅より 徒歩7分  
地下鉄浅草線・大江戸線  
「大門」駅より 徒歩8分

<http://medstat.jp/info/mapseminar2017jan.pdf> に新橋から会場までの説明案内がございます。詳細はそちらをご覧ください。

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もさせていただきますので、**10/25** (Thu) までに、できる限り、事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。

※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第4回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分  
4. 参考書籍購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意、ご了承下さい。セミナー開催の

8日前（開催当日を含まず）まで： 不要  
7日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分  
前日 - 当日のキャンセル： 全額